

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4191

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P20	酪農経営緊急支援事業		一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産物需給対策費	
事業期間	令和 5年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第2条の3		針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2
					分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-2, 2-3, 2-4
1 事業概要			5 事業説明					
酪農経営は飼料等の生産資材の高騰・高止まりの一方で生乳需要が低迷し、収益性が大きく減少している。そこで、飼料・生産資材の高騰による酪農家の影響を緩和するとともに、生産コスト増につながる乳用雄牛の生産を抑制するため、雌雄産み分け技術を推進し、酪農経営の安定を図る。			(1) 事業内容 ア 輸入粗飼料高騰緊急支援事業 212,430千円 輸入粗飼料の高騰で影響を受ける酪農家の負担を軽減する。 イ 自給飼料生産支援事業 35,330千円 自給飼料の生産の定着化のため、生産コスト上昇分を助成する。 ウ 酪農収益確保支援事業 5,100千円 生産コスト増となる乳用雄牛の生産を抑制するため、性判別精液の利用を推進する。					
ア 輸入粗飼料高騰緊急支援事業 補助申請額が見込みを下回ったことによる減額 △37,000千円 イ 自給飼料生産支援事業 補助申請額が見込みを下回ったことによる減額 △17,000千円			(2) 事業計画 ア 輸入粗飼料高騰緊急支援事業 補填額 6か月間の輸入粗飼料購入数量1kgあたり21円以内 イ 自給飼料生産支援事業 助成額 飼料作物作付面積1haあたり50,000円以内 ウ 酪農収益確保支援事業 補助率 1/2以内					
2 事業主体及び負担区分			(3) 事業効果 輸入粗飼料高騰を受け経営が悪化した酪農家の経営維持 自給飼料生産の安定化 生乳生産基盤の維持拡大、酪農経営の収益性確保					
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(地方単独分) ア、イ (国10/10・県0)事業者0			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 畜産関係団体と連携し事業実施					
3 地方財政措置の状況			(5) 補正予算の概要 補助申請額が見込みを下回ったことによる減額					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×1.0人=9,500千円					
9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
		国庫支出金						
決定額	△54,000	△54,000					0	
現計額	252,860	252,860					0	

事業内訳書

事業名	酪農経営緊急支援事業		
単位事業名	輸入粗飼料高騰緊急支援事業	予算額	△ 37,000千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 畜産業費補助金	△37,000	—	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 補助率 定額
合計	△37,000	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△37,000	—	補助申請額が見込みを下回ったことによる補助金の減
合計	△37,000	—	

単位事業名	自給飼料生産支援事業		予算額	△ 17,000千円
-------	------------	--	-----	------------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 畜産業費補助金	△17,000	—	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 補助率 定額
合計	△17,000	—	

単位事業名	自給飼料生産支援事業	予算額	△ 17,000千円
-------	------------	-----	------------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△17,000	—	補助申請額が見込みを下回ったことによる補助金の減
合計	△17,000	—	